

『気持ちのよい頼み方』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	1. 本時の目標を知る。	<p>○今日は気持ちのよい頼み方について学習します。みんなの前で発表してもらったり、練習したりすることがありますが、ふざけたり恥ずかしがったりせずに積極的に取り組みましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふざけない ・恥ずかしがらない </div> <p>○誰かに何かを頼んだとき、相手が気持ちよく引き受ける場合、嫌々ながら引き受ける場合、断られる場合などいろいろあります。何かを頼まれたとき、どういう場合(相手)であれば、気持ちよく引き受けることができますか。</p> <p>○頼まれる側としては、自分の頼みたいことだけを一方的に言われるよりも、自分の状況に配慮しながら、丁寧に頼まれると、気持ちよく引き受けることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールが必要な理由を添えて説明する。 ・「頼んでいる人が困っていると感じられるとき」「優しく頼んできたとき」「普段から何でも一生懸命やっている人が頼んできたとき」など ・一方的に頼むのではなく、相手や状況を考えて頼むことが大切であることに気付かせる。
<p>気持ちのよい頼み方を練習しよう</p>			
	<p>2. モデリングを見て、頼み方のポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I 相手の状況を考えずに頼む</p> <p>II 相手の状況を考えながら頼む</p>	<p>○相手が気持ちよく引き受ける場合と嫌々ながら引き受ける場合は、頼み方にどんな違いがあるのでしょうか。これから2つの頼み方をやってもらいます。どちらの頼み方の、どのようところがよいか考えながら見てください。</p> <p>○どちらの頼み方のどのようところがよかったと思いますか。</p> <p>○相手に気持ちよく引き受けてもらうためのポイントをまとめましょう。</p> <p>○まず、声かけをして相手の都合を確認めます。次になぜ頼むのか理由を説明します。そして頼みたいことの具体的な内容を示します。要求が通ったときは挨拶(感謝)をします。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【頼み方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相手の状況を考えて声を掛ける ②理由を説明する ③具体的な内容を示す ④あいさつ(感謝)をする </div> <p>○頼み方には次のようなタイプがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 攻撃的な頼み方 ② 非主張的な頼み方 ③ 優しい頼み方 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒、または生徒同士で演じさせる。 ※モデリングシナリオ参照 ・頼まれたときの気持ちにどんな違いがあったか「頼まれる役」に聞く。 ※ワークシート参照 ・ワークシートを配布し、ポイントを記入させる。 ・①～④のポイント以外の非言語的なポイント(表情、声のトーン、姿勢など)も重要であることを付け加える。 ・ワークシートの『頼み方の3つのタイプ』読み上げ、違いを確認する。

		○相手に気持ち良く引き受けてもらうためには、相手の立場を尊重しつつ、具体的に頼むことが大切です。	
や っ て み る	3. 頼み方のポイントに気を付けながら練習①をする。	○これから練習をします。3人グループを作って「頼む役(生徒A)」「頼まれる役(生徒B)」「観察役」を決めてください。 ○役割が決まったら、頼み方のポイントに気を付けながら練習してください。 ○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。 ○役割を交替しながら、全ての役割を練習してください。	※ワークシート参照 ・各グループの活動を観察し、必要に応じてアドバイスをする。 ・「観察役」はポイントを押えて頼むことができているか観察するように促す。
	4. 練習①を振り返る。	○すべての役割の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。 ○4つのポイント以外でよかったところを紹介してください。	・自己評価を記入させる。 ・いくつかのグループに発表させ、その都度褒める。
	5. 断られた場合のポイントを知る。	○頼み方のポイントを使って頼んでも、相手の都合で断られる場合があります。そういう時、どのようにすればよいか考えてみましょう。	・生徒に発表させる。 ・「もう一度頼んでみる」「理由を尋ねる」「代案を出す」など
	6. 頼み方と断られた場合のポイントに気を付けながら練習②をする	○もし断られた場合は、代案(別の方法や別の機会)や妥協案(互いに折り合いのつく方法)を提案する方法もあります。 ○練習②の場面で、断られた場合にはどのように頼むかグループで考えましょう。 ○練習②をグループで練習しましょう。「頼む役(生徒A)」「頼まれる役(生徒B)」「観察役」を決めて練習してください。 ○4つのポイント以外のポイントを加えてもいいです。 ○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。 ○役割を交替しながら、全ての役割を練習してください。	※ワークシート参照 ・グループで話し合わせ、ワークシートに記入させる。 ・各グループの活動を観察し、必要に応じてアドバイスをする。 ・新たなポイントはワークシートに記入させる。 ・「観察役」はポイントを押えて頼むことができているか観察するように促す。
	7. 練習②を振り返る。	○全ての役割の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。	・自己評価を記入させる。
ふ り か え る	8. 学習のまとめをする。	○今日は気持ちのよい頼み方について学習しました。今日の練習を振り返りましょう。また、頼み方のポイントがどんな場面で活用できるか、ワークシートに記入しましょう。 ○相手に気持ちよく引き受けてもらうために	※ワークシート参照 ・ワークシートに記入させ、回収する。 ・頼み方のスキルの意義を

		<p>は、相手の立場を尊重しながら、自分の状況を説明して、してほしいことを具体的に提案することが必要でした。それでも、必ずしも相手が引き受けてくれるとは限りません。相手には相手の都合があるのですから、断られる場合もあります。もし、断られてもあなた自身が否定されているわけではありませんので、次の機会に期待しましょう。</p>	<p>押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none">• 断られる場合もあることを確認する。• 授業後の数日間、ワークシートの『感想』や『スキルを活用したい場面』を紹介し、意識化を繰り返すことで、スキルの定着を図る。
--	--	--	---

モデリングシナリオ

場面設定

生徒Aは、風邪をひいて3日間休んでいた。もうすぐ期末考査があるので、生徒Bに、休んでいたときの英語のノートを一冊だけ貸してくれるよう頼みたいと思っている。生徒Bは、数学の先生にプリントを集め、急いで提出するように頼まれている。

モデリングI 相手の状況を考えずに、強引に頼む。

生徒A : (Bの机の上にあるノートを手にとって)「Bさん、英語のノート借りるよ。」

生徒B : (離れたところで、数学のプリントを整理している)「えっ、ちょっと待って。」

生徒A : 「急いで帰りたいから、借りていくよ。」

生徒B : 「今日、勉強しようと思っていたのに…」(困ったような表情をする)

生徒A : (ノートを手に取って、急いで帰る)「じゃあね。」

生徒B : 「明日までに絶対返してくれよ。」

生徒A : (帰りながら)「写しおわったらね。」

モデリング② 相手の状況を考えて丁寧に頼む。

生徒A : (生徒Bに近づき)「ねえ、Bさん。ちょっといいかな?」

生徒B : (プリントを整理している)「今、プリントを並べているから、ちょっと待って。」

生徒A : 「わかった。じゃあ、待ってるね」(生徒Bの作業が終わるのを待つ)

生徒B : (プリントの整理を終える)「待たせてごめん。何?」

生徒A : 「昨日、風邪で学校休んでたんだ。昨日の分の英語のノートを写したいから、よかったら貸してもらえないかな?」

生徒B : 「いいよ。はい、これ。」(英語のノートを渡す)

生徒A : (ノートを受け取って)「ありがとう。助かるよ。明日、必ず返すから。」

3. 活用場面のアレンジ例

「⑨やさしい頼み方」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

委員会活動で協力を得て仕事をしなければならないとき
自分だけではできそうにないことをしなければならないとき
一人で難しい課題に取り組むとき
分からないことを教えてもらいたいとき
何かを貸してもらいたいとき
何かをとってもらいたいとき
何かをしていて手が離せないときに代わりに何か頼みたいとき
部活動で準備や片付けなどをするとき